

「区役所本庁舎南館改築基本構想(素案)に寄せられた  
パブリックコメント(意見)に対する  
区のお考えをお知らせします

「広報いたばし」10月11日号で募集した、区役所本庁舎南館改築基本構想(素案)に寄せられたパブリックコメント(意見)とそれに対する区のお考えをお知らせします。

意見の集計結果 件数12人 41件

<意見に対する考え方一覧>

NO	意見の概要	件数	考え方
計画全体に関して			
1	改築にかかる費用以上の効果があるのか、説明が足りない。素案の内容だけでは改築の是非を判断できない。	1	素案では、南館改築にあたっての経緯・基本的な考え方等を公表しています。今後、改築による区民等への効果、サービス向上等については、さらに情報公開をして改築に向けた区の取り組みへの理解をいっそう深めていただくよう努めます。
2	区役所の南館が建設されて、46年も経過していると聞いて、大変驚いている。区役所が機能しなくなれば区民の生活は成り立たなくなる。建設経費を出来るだけ圧縮して、安価でしかも頑丈な庁舎となるように、一生懸命に考えてほしい。また、誰もが利用しやすい区民の利便性を最優先に考えた庁舎としてほしい。	1	引き続き、充実した窓口機能や使いやすい庁舎機能によって、区民へのサービス向上を図ります。また、コスト面への配慮をし、改築を進めてまいります。
3	そもそも誰が検討してきたのか。コンサルはついているのか。区職員で基本構想を策定する能力を高めていただきたい。	1	区では、平成18年1月策定の「板橋区基本計画」、平成20年1月策定の「いたばし 1 実現プラン」等も踏まえて検討を進めております。素案の作成については、公募プロポーザルを経て選定された民間会社からのコンサルティングも受けております。
4	昨今の経済情勢等も踏まえた上で、63億円もの資金を投入して改築する必要があるのか。	4	現在の南館は、建物が耐震基準を満たしていない(構造耐震判定指標値が耐震改修促進法で定める基準(ISO=0.6)を満たしていない)ため、大地震時に倒壊する可能性があり、耐震性の問題を緊急に解決しなければなりません。また、建物・設備機械の老朽化が進んでいることから改築が必要と考えております。今回の改築は、災害に備えた庁舎 - 災害時における対策本部としての機能・バックアップ機能の強化により、区民の安心・安全を守ることを大きな目的の一つと位置付けています。また、充実した窓口機能や使いやすい庁舎機能によって区民へのサービス向上を図り、コスト面についても引き続き十分に考慮の上、進めてまいります。

NO	意見の概要	件数	考え方
5	63億円もの税金を使うのであるから、例えば区長選挙での「マニフェスト」で改築の是非を問うなど、区民の理解を得てから行うべきである。	1	南館は昭和37年に建設しましたが、昭和62年の北館建設の際に、13年後（平成12年）に建て替えることを前提に耐震補強を行いました。その後、予定の期間を越えて現在まで使用していますが、建て替えの検討も併せて行ってきたという経緯があります。さらに、平成18年1月策定の「板橋区基本計画」、平成20年1月策定の「いたばし 1 実現プラン」等も踏まえて、今回の素案に至っております。
6	パブリックコメントの募集期間が短い。改築推進のための「形式」として行っているだけなのではないか。	3	募集期間については、約3週間という相応の期間を設定していると考えておりますが、今後も区民の皆様をはじめとした様々な方からのご意見をいただきながら検討を進め、また、検討内容について必要に応じて公表致します。
7	新館（北館）を使いながら南館を改築するのであれば、工事の期間中は来庁者の安全の確保に十分配慮してほしい。	1	工事については、工事区画、工事車両と利用者の動線を分離し、また、車両出入口に警備員を配置するなどにより、来庁者の安全確保に十分な配慮をし、進めてまいります。
8	計画の主体は営繕でやるべきだと思う。隣の豊島区は「室」で行っている。政策経営部庁舎建設課まで必要であるか。室レベルとどこが違うのか教えてほしい。	1	板橋区では、政策経営部庁舎建設課が担当として改築の検討を進めておりますが、その事務量、対外折衝等の業務量全体のボリュームを勘案して、同課で担当することが組織としては妥当と考えております。

#### 改築の必要性

9	現時点での改築の必要性がよくわからない。耐震補強で使い続けることはできないのか。	3	南館の問題点として、建物が法律で定める耐震基準を満たしていないこと、建物・設備機械の老朽化が進んでおり更新時期を迎えていること等が挙げられます。改築だけではなく耐震補強についても検討しましたが、その場合には壁の増加などにより、今まで一体で使用していた空間が分断されるため、一層の狭隘化を招くこととなります。そのため、庁舎内にある部署を他に移転せざるを得なくなる等、現在の区役所本庁舎としての機能の著しい低下につながる可能性もあります。また、日常業務を行いながらの耐震補強の手法についても、検討の結果、困難との判断をしております。
10	「区の財政状況に改善がみられたこと」とあるが、本当に改善されているのか。改善しているのであれば、区民サービスへ回すとどうなるのかシミュレーションをしてほしい。	1	庁舎の建設に関して、平成19年度から区債が発行できるようになったこと、都からの交付金が見込めること、区所有の未利用地売却による資金が見込めることなど、新しい財政環境が生じています。南館改築は広い意味での区民サービスの一つであり、素案に記載している新南館の基本方針、必要な機能を改築後の南館に反映させることで、区民へのサービス、利便性向上を実現していきます。建物の狭隘化を解消することで、待合スペースにゆとりが生まれ、区民が庁舎を使いやすくなることなどが考えられます。

NO	意見の概要	件数	考え方
11	「建物が法律で定める耐震基準を満たして おりません」とあるが、科学的なデータが 示されていない。単に法律で定める耐震基 準を満たしていないというだけではないの か。耐震診断は行っているのか。	3	南館は昭和62年の北館建設時に、内外装工事 と耐震補強工事を行うため耐震診断を行いま した。その当時の診断内容と現在の図面をも とに第三者の専門家による評価をいただいた ところ、構造耐震判定指標値が耐震改修促進 法で定める基準(ISO=0.6)を満たしてないとい う評価に至り、大地震時に倒壊する可能性 があることがわかりました。(構造耐震判定 指標値ISOが0.6以上の場合、震度6強程度で も倒壊しないと言われていました) 区役所庁舎は災害時には災害対策本部として も使用されるものであり、改築により、耐震 性基準を満たす安全で安心な区役所庁舎を実 現していきます。
12	窓口の混雑や建物の狭隘化は、出張所を縮 小した結果ではないのか。出張所等の機能 を狭めたことが原因ではないのか。	3	出張所の縮小については、平成16年1月策定の 「板橋区経営刷新計画」により、区民の方々 へ提供する種々の行政サービスの充実と、出 張所を維持するコストをどのようにすべきか という判断の中で決定しております。
13	来庁者用駐車場の不足を指摘しているが、 東京都の駐車場が近くにあるので、緊急車 用以外は設置しなくてよいのではないのか。	1	現在庁舎内の来庁者用駐車場については、利 用ニーズが高いものの、駐車場の構造の面か ら渋滞を招き、ニーズを満たさきれていない というのが現状です。このような状況を改善 すべく、庁舎の改築にあたり、よりよい駐車 場の検討を行っているものです。 区役所に来庁される方のために、利便性が高 い駐車場を提供することを検討致します。
14	素案ではバリアフリー対応への遅れにつ いて指摘しているが、現在の庁舎での状況等 からすると、本当にバリアフリーのことを 考えているとは思えない。 バリアフリーはぜひ実現してほしい。素案 ではユニバーサルデザイン化が盛り込まれ ているが、バリアフリーが含まれていると 考えてよいのか。	2	今回改築する南館だけではなく、バリアフ リー対応が遅れている箇所については、区民 の皆様からのご指摘、ご意見等々も踏まえて 随時対応していきます。それにより、区庁舎 全体、区の施設等が区民にとって、より便利 でわかりやすい施設となることを目指してい きます。 素案の基本方針における「だれもが使いやす いユニバーサルデザインの庁舎」の趣旨とし てはバリアフリー化も含まれております。例 えば、北館・南館の段差の解消や、階段寸法 のバリアフリー化といったことを検討致しま す。
<b>新南館の基本的な考え方</b>			
15	「環境を守り資源を大切に作る庁舎」とあ るが、新エネルギー・省エネルギー技術の 導入の記載について、より具体的な記載と 実施が必要と考えられる。	1	今後、ご意見を踏まえ、計画の中で導入につ いて検討していきます。
16	「環境を守り資源を大切に作る庁舎」とあ るが、建替えをすること事態が、「CO2 な どの温暖化ガスの排出」といったことにつ ながるのではないのか。行政として「建物を 長く使いましょう」と範を示していくべき ではないのか。	1	今回の検討においては、耐震補強により既存 庁舎を使用し続けることも検討しましたが、 その上で、改築の必要性があると判断して おります。改築する中で、環境を守り資源を大 切にすることを基本方針の一つとして進めて まいります。

NO	意見の概要	件数	考え方
17	改築について賛成の立場から意見(要望)を行う。 改築される南館は、区民サービスを更に充実させる施設・区民の憩いの広場的要素を加味しつつも防災拠点としての機能をも担保されるべき施設だと考える。ついては、災害時に於いても情報発受信基地として、区民の緊急一次避難場所としての機能を保持する必要を考慮し、災害時にも避難生活を最小限の苦慮で過ごせるべき設備等を確保することとするよう要望する。	1	今後、ご意見を踏まえ、計画の中で導入について検討していきます。
18	非常電源などのバックアップシステムの強化が述べられているが、コンピューターシステムについても主要機器・電源・通信回線等の二重化を行い、異常時対策を考慮しておくべきと考える。	1	コンピューターシステムの二重化については重要な事項と考えており、今後さらに検討していきます。
19	現在の食堂は地下にあり開放感がない。南館の1階に移設する計画であれば、開放感があり、区民の憩いの場になるような食堂にしてほしい。	1	食堂等の配置フロア、レイアウトについては、今後、基本計画の段階にて具体的に検討する予定ですが、その際の参考とさせていただきます。
20	区民ホールについて提案する。 施設設備として、「ホール」は床から座席・舞台がせり上がってくる昇降システムの方式又は後方への可動方式を採用すれば「ホール」の機能が多目的に利用することが可能になるので検討いただきたい。	1	区民、行政が協働して活動できるギャラリー、交流のできる区民ホール機能の充実、区民活動の発表の場を設ける等を検討していきますが、一方で改築後に使用できるスペースにも限りがあります。その中で具体的な機能・レイアウトを決めていかなければなりません。ご意見として承ります。
新庁舎の基本計画			
21	新南館の規模は12,000㎡とされているが、中長期的将来の姿(人口・区の組織・職員数・区議会組織・議員数等)を想定して決めるべきと考えるが、どの程度考慮されているのか。	1	新南館の床面積は、現南館の面積を基に、現状の問題点解決のため必要な面積を加算して求めています。また、現在の人口・職員数・議員数を用い国の基準や類似団体のデータと比較して算定しています。
22	駐車場設置のイニシャルコストの比較はしているが、人件費等を含むランニングコストも比較しているのか。	1	コスト面については、ランニングコスト等も含めた事業全体でのコストも勘案し、駐車場の設置方式を検討しております。
23	事業費を63億円と想定しているが、資金計画をどのようにするのか明示してほしい。	1	資金計画については、今後事業費が確定した時点で財源の内訳についても精査し、明らかにしていきます。
24	資金調達として、寄附金の公募、区債の公募を検討してほしい。	1	引き続き、改築にあたっての望ましい財源の検討を進めてまいります。
25	区内の全ての小中学校の耐震工事は終了したのか。南館の改築はその後に、もしくは、併行して行うべきではないか。併行して行う場合にはスケジュールを公開してほしい。	1	学校の耐震化については、児童・生徒の安心・安全の確保を最優先に考え、平成22年度末時点で耐震化が終了しているか、若しくは少なくとも工事に着工している段階まで到達することを予定しています。したがって、南館の改築は並行して取り組むこととなります。なお、改築に関する想定事業スケジュールについては素案に記載しておりますが、今後も詳細を検討していく中で必要に応じて適宜公表する予定です。

NO	意見の概要	件数	考え方
事業手法の検討			
26	提案競技を行い、区民に公開して区民投票で計画を決めるべきである。	1	改築にあたっての事業手法は、コスト面、スケジュール面、その他の要素を総合的に考慮し、民間の創意工夫を取り入れられる方向で検討致します。
27	区を代表する建物の大切な工事なので、税金を無駄にしないでほしい。また、良質な施工業者を選定するために価格のみで決定しないよう業者選定は総合的な判断をしてほしい。	1	同上
28	改築の工事完了まで透明性を保ち、できるだけ安く丈夫で立派な庁舎を作ってほしい。そのための工夫として、設計・解体・建築等を別々に入札で行うのではなく、グループで一体となって改築を進める方式。入札価格も公開せず、参加する企業のグループも区内に限定せず、全国規模でのグループからの応札を可として進める方式。庁舎完成後の運営についても応札の対象とし、改築事業全体としての経費を抑える仕組み。設計審査は図面公開で行い、可能であれば、完成後の図面等を公開し、区民からの投票をもとに選定するという方法。が考えられる。	1	同上
29	区民の代表として存在する入札監視委員会が、この改築に関与できるように配慮してほしい。	1	今後も事業の進捗状況を適宜公開していくとともに、引き続き、透明性、質の確保に向けた仕組み作りを検討していきます。